

教科	科目	単位数	学年	集団
国語	論理国語	2	2	総合探究科

使用教科書	副教材等
論理国語（大修館書店）	新コンセプト 論理国語 読解を深める 現代文単語 評論・小説 改訂版 常用漢字ダブルクリア

科目の目標
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価の観点とその趣旨	
①知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。
②思考・判断・表現	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。
③主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
評価方法	
①定期テスト、小テスト ②定期テスト、ワークシート ③授業、テストへの取り組み状況、提出物	

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材などの内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、様々な観点から情報を収集、整理する	世界・言葉・私—私たちは世界とどのように向き合えばよいのか？ 『対話の精神』、「言葉を定義する」	①言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ②実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、様々な観点から情報を収集、整理することができる。 ③言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。	○	○	
5	内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を把握する	芸術と文化—美しいとはどのようなことか？ 『ミロのヴィーナス』	①論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き豊かな語彙を扱うことができる。 ②内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を把握することができる。 ③我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている。	○	○	○
6	情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、論点を明確にして主張を支える適切な根拠をそろえる	共同体のいま—社会において価値あるものとは何か？ 『家族化するペット』、統計資料から分析したことを書く	①文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 ②情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、論点を明確にして主張を支える適切な根拠をそろえることができる。 ③言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	○	○	○

7	内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を把握する	科学の可能性—科学は人々を幸福にするのか？ 『自己をモデル化する知能』	①文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解している。 ②内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を把握することができる。 ③言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	○	○	○
9	文章の構成について、書き手の意図との関係を踏まえて多面的・多角的な視点から評価する	科学の可能性—科学は人々を幸福にするのか？ 『人工知能の可能性と畏』	①文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解している。 ②文章の構成について、書き手の意図との関係を踏まえて多面的・多角的な視点から評価することができる。 ③言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	○	○	
10	実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、様々な観点から情報を収集、整理する	日本語の多様性—なぜ言葉を使い分けるのか？ 『「方言コスプレ」現象』、情報を集めて分類する	①論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き豊かな語彙を扱うことができる。 ②実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、様々な観点から情報を収集、整理することができる。 ③言葉の持つ価値への認識を深めようとしている。	○	○	○
11	主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する	思考の枠組み—認識や行動の違いは何から生まれるのか？ 『スキーマと記憶』	①論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き豊かな語彙を扱うことができる。 ②主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈することができる。 ③言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	○	○	○
12	関連する資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深める	思考の枠組み—認識や行動の違いは何から生まれるのか？ 『絵を見る技術』	①文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解している。 ②関連する資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めることができる。 ③我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている。	○	○	○
1	自分の主張が的確に伝わるように書かれているか吟味し、読み手からの助言などを踏まえて、文章の構成や展開、表現の仕方などに関する自分の文章の特徴や課題を捉え直す	社会の原点—何が人間の社会を成り立たせているか 『社会的実在としての言語・法・貨幣』、意見を交流する	①文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 ②自分の主張が的確に伝わるように書かれているか吟味し、読み手からの助言などを踏まえて、文章の構成や展開、表現の仕方などに関する自分の文章の特徴や課題を捉え直すことができる。 ③言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	○	○	
2	文章の構成や表現の仕方について、書き手の意図との関係を踏まえて多面的・多角的な視点から評価する	グローバル化の先へ—世界は一つになりうるか？ 『心に「海」を持って』	①文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 ②文章の構成や表現の仕方について、書き手の意図との関係を踏まえて多面的・多角的な視点から評価することができる。 ③言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	○	○	○
3	人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深める	グローバル化の先へ—世界は一つになりうるか？ 『世界は、いま「多文化世界」の構築』	①文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解している。 ②人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めることができる。 ③言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	○	○	○